

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	326		所属名	地域交通政策課	所属長	高木 悟
部 局 名	建設部		記 入 者	山本 愛樹		
事務事業名	00897 公共輸送対策推進事業					

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律	
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
	政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします	関連する個別計画		大津市地域公共交通総合連携計画（平成28年度末まで）
	施策	02	公共交通ネットワークの再構築			
	視点	01	地域公共交通ネットワークの再構築			
重事	01	コンパクトなまちづくりと連携した公共交通ネットワークの確立				

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	公共輸送対策推進費	

**事業の概要**  
 大津市地域公共交通活性化協議会が主体となり、既存の公共交通ネットワークの利便性を維持・活性化する施策を推進することに併せ、コンパクトなまちづくりと連携して交通網の確保を目指す。また、デマンドタクシー、自動運転など新たな交通輸送サービスの実証運行を行うなど、地域に相応しい公共交通のあり方も検証する。平成30年度から令和2年度にかけて「大津市地域公共交通網形成計画」を策定するため、勉強会及び分科会を開催し、策定を進める。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	既存の公共交通ネットワークの維持・活性化を図り、コンパクトなまちづくりと連携した効率的な交通ネットワークを構築するため
対象 (何又は誰を)	公共交通事業者、地元交通対策協議会（地域住民）、公共交通利用者
手段 (どのようなやり方で)	大津市地域公共交通活性化協議会が事業主体となって様々な活性化施策を推進することにより
成果 (どのような状態にするのか)	さらに安全で快適な公共交通ネットワークが形成されている

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		78,871	59,997	74,845	30,023	30,023	
人件費 B		34,000	49,586	50,180	29,963	29,963	
事業費合計 A+B		112,871	109,583	125,025	59,986	59,986	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	2,767	2,135	1,813	10,525	10,525	
	一般財源	110,104	107,448	123,212	49,461	49,461	
職員数(人)		4.30	6.20	6.20	3.61	3.61	
職員数の内訳	正規	4.10	6.00	6.00	3.61	3.61	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	公共交通維持・活性化に係る事業の実施数	事業	目標	4	4	4	4	0
				実績	5	6	6	-	-
今年度における公共交通維持・活性化に係る活性化協議会の実施する事業数									
活動指標	2			目標					
				実績					
成果指標	1	1日あたりの地域公共交通全体の利用者数	人/日	目標	345,000	345,000	345,000	345,000	345,000
				実績	323,095	322,500	312,920	-	-
大津市内における1日あたりのJR・京阪電車・路線バスの利用者数									
成果指標	2			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	自家用車の普及により、公共交通（特に路線バス）の利用者数は減少傾向にあり、減便や不採算路線が増加していることから、コンパクトなまちづくりと連携した新たな公共交通ネットワークの確保が急務となっている。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成27年度に志賀地域、平成29年度には晴嵐台地域でデマンドタクシーの実証運行を開始し、晴嵐台地域は、平成30年11月より自治体が主体となり運営実施されるなど、交通不便地の解消に向けて取り組んでいる。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第4条に規定されており、市が実施主体となることは妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	活動指標の目標数は達成したが、減便の影響を受け、昨年度に比べ鉄道・路線バスの利用者数が減少したことにより、成果指標の目標値は未達成となった。活動指標に掲げている公共交通維持・活性化に係るデマンドタクシー等の事業により、公共交通課題地域における代替手段の確保を促したものの利用者数の減少が加速した。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	大津市地域公共交通活性化協議会が主体となり、交通事業者や関係団体等の意見聴取を行うなど、三者協働により連携を図っており、効率的・効果的に事業が推進できている。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	施策の「公共交通ネットワークの再構築」において、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の一層の低下を課題としており、デマンドタクシー等の事業により、移動手段の確保に対応していることから、目標達成に一定は貢献できていると考える。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	コンパクトプラスネットワークの実現に向けた地域公共交通ネットワークを確保するため、地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープランとなる（仮称）地域公共交通計画を策定するとともに、住民、公共交通事業者、行政が相互に連携して路線バスの退出を代替する新たなネットワークの構築の取り組みを進める。
	三者協働による持続可能な公共交通網の形成を目指し、地域公共交通網形成計画の策定に取組むこと。志賀地域のデマンドタクシー実証運行は、さらなる収益率の向上を図り、本格運行に向け改善に取り組むとともに、成果を他の課題地域へも拡大させること。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	93.65 %	93.47 %	90.70 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-0.18 %	-2.97 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	22,574 千円	18,263 千円	20,837 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-2.73 %	+17.58 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	327				
部 局 名	建設部	所 属 名	地域交通政策課	所 属 長	高木 悟
事務事業名	01924	人にやさしいバス導入促進事業		記 入 者	山本 愛樹

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	大津市交通バリアフリー基本構想、大津市障害者福祉計画 ほか
	政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします		
	施策	02	公共交通ネットワークの再構築		
	視点	01	地域公共交通ネットワークの再構築		
重要	01	コンパクトなまちづくりと連携した公共交通ネットワークの確立			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	人にやさしいバス導入促進事業費	
事業の概要	バス事業者等がノンステップバスを導入する際に費用の一部を補助することにより、その導入を促進し、高齢者、障害者等の移動の利便性や安全性の向上を図る。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	高齢者や障害者等が自立した日常生活、社会生活を営むため
対象 (何又は誰を)	バス事業者等に対して
手段 (どのようなやり方で)	ノンステップバス車両の導入経費に対する補助を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	ノンステップバスが普及し、高齢者、障害者等の乗降時の負担が軽減され、利便性が向上する

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,430	1,677	800	1,400	1,400	
人件費 B		820	1,640	1,660	1,826	1,826	
事業費合計 A+B		3,250	3,317	2,460	3,226	3,226	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,250	3,317	2,460	3,226	3,226	
職員数(人)		0.10	0.20	0.20	0.22	0.22	
職員数の内訳	正規	0.10	0.20	0.20	0.22	0.22	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	ノンステップバス導入補助台数	台	目標	6	6	2	2	2	
				実績	3	3	1	-	-	
	当年度にノンステップバス導入の補助を行った台数									
	2				目標					
			実績							
成果指標	1	低床バス導入率(累計)	%	目標	60	65	67	69	71	
				実績	64.9	74.9	77.6	-	-	
	低床バス、リフト付バス車両台数/全バス車両台数									
	2				目標					
			実績							



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	328		
部 局 名	建設部	所 属 名	地域交通政策課
事務事業名	00935 放置自転車対策事業	所 属 長	高木 悟
		記 入 者	平岡 知樹

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	自転車法及び天津市自転車等の放置防止に関する条例 天津市交通安全計画
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします		
	施策	02	公共交通ネットワークの再構築		
	視点	01	地域公共交通ネットワークの再構築		
重事	99	その他		関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	放置自転車対策事業費	

**事業の概要**  
 「天津市自転車等の放置防止に関する条例」の制定に伴い、自転車等の放置禁止区域における『啓発・撤去・返還』業務を民間委託し、駅周辺の放置自転車等をなくし良好な環境及び美観を保持する。天津市道上等の啓発・撤去については、直営及び民間委託で行っている。放置禁止区域・・・小野駅周辺・堅田駅周辺・おごと温泉駅周辺・比叡山坂本駅周辺・唐崎駅周辺・大津京駅周辺・大津駅周辺・膳所駅周辺・石山駅周辺・瀬田駅周辺・浜大津駅周辺

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	公共の施設である駅前広場や天津市道上における自転車・原動機付自転車の放置の防止
対象 (何又は誰を)	自転車及び原動機付自転車の所有者または利用者
手段 (どのようなやり方で)	放置防止の『啓発活動』及び、禁止区域や天津市道上の放置自転車等の撤去
成果 (どのような状態にするのか)	歩行者等の交通安全の確保及び街並みの美観保持

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		22,823	26,806	19,344	9,753	9,753	
人件費 B		6,435	4,805	5,469	5,772	5,772	
事業費合計 A+B		29,258	31,611	24,813	15,525	15,525	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	770	289	247	529	529	
	一般財源	28,488	31,322	24,566	14,996	14,996	
職員数(人)		1.10	0.90	1.10	1.25	1.25	
職員数の内訳	正規	0.60	0.40	0.40	0.37	0.37	
	嘱託	0.50	0.50	0.70	0.88	0.88	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	啓発台数	台	目標	2,500	2,000	2,000	1,500	1,500
		実績		1,609	1,589	975	-	-	
		放置禁止区域内外における実啓発数(シール貼付数)							
成果指標	1	撤去台数(違法駐車台数)	台	目標	900	700	600	500	500
		実績		616	401	416	-	-	
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	これまでの取り組み結果から、放置自転車の台数は減少傾向にある。		
これまでの見直しや改善等の経過	放置禁止区域における放置防止啓発作業の適切な人員配置や撤去日数の見直し等の改善に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	駅前広場や市道等の公共施設の安全や景観の維持を目的に、市が実施することが妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	日々の啓発や撤去作業により、放置自転車等の数は年々減少傾向にある。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input checked="" type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	活動指標、成果指標とともに、目標設定以上の減少傾向にあり、成果が上がっていることから、更なる効率化を検討する必要がある。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	自転車駐車場事業と相互に連携しながら実施しており、駅周辺の景観保全や安全を確保する上でも貢献度が高い事業である。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続      ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (      ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	活動指標、成果指標とともに減少傾向にある一方で、啓発及び1台あたりの撤去、処分費用が上昇しており、啓発体制や回収回数の見直しが適当である。
部局長コメント	これまでの事業活動の蓄積により放置自転車の発生数が抑えられている一方で、事業費がかかり過ぎる傾向が伺える。自転車駐車場の管理要員による啓発事業の代替や地域住民組織との協働の取組みなど、公共としての関与について緩和することも含め合理化を図ること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	146.10 %	174.56 %	144.23 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+34.90 %	-3.74 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	18 千円	19 千円	25 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	47 千円	78 千円	59 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-65.97 %	+24.33 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	329				
部 局 名	建設部	所 属 名	地域交通政策課	所 属 長	高木 悟
事務事業名	00936 自転車駐車場管理運営事業	記 入 者	平岡 知樹		

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市自転車駐車場条例
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する 個別計画	天津市交通安全計画
	政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします		
	施策	02	公共交通ネットワークの再構築		
	視点	02	広域公共交通ネットワークの維持		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	自転車駐車場管理運営事業費	

事業の概要	市内自転車駐車場 有料施設17箇所 無料施設12箇所 有料施設は指定管理者に管理運営委託（7：00～20：00）
-------	---

運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）
------	---

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	市民の自転車等利用の利便性の向上及び鉄道駅周辺の駐車秩序の確立並びに都市景観の維持
対象 (何又は誰を)	自転車等の所有者又は利用者
手段 (どのようなやり方で)	駐車場の提供
成果 (どのような状態にするのか)	放置自転車等の防止による駅前の適正な環境の維持及び街並みの美観保持

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		217,275	220,355	200,715	219,347	219,347	
人件費 B		6,435	5,215	4,656	3,486	3,486	
事業費合計 A+B		223,710	225,570	205,371	222,833	222,833	
事業費 の財源 内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	200,610	194,500	186,320	187,783	187,783	
	一般財源	23,100	31,070	19,051	35,050	35,050	
職員数(人)		1.10	0.95	0.75	0.42	0.42	
職員数 の内訳	正規	0.60	0.45	0.45	0.42	0.42	
	嘱託	0.50	0.50	0.30	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	利用台数	台	目標	3,770,000	3,770,000	3,770,000	3,770,000	0
		実績		3,396,690	3,323,690	3,128,415	-	-	
		有料自転車駐車場の利用台数							
2				目標					
				実績					
成果指標	1	料金収入	千円	目標	227,000	227,000	200,000	200,000	0
		実績		200,610	194,500	186,320	-	-	
		有料自転車駐車場の料金収入							
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	近年、駅近郊の開発等により、南部地域において自転車等の利用が増加している。一方で、北部地域では減少し、利用状況に偏りが見られる。		
これまでの見直しや改善等の経過	収納可能台数の再評価や指定管理者による機械の一部導入などを行い、利便性の向上に努めた。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	駅前等の公共施設の安全や景観を維持する上で自転車駐車場の設置、管理業務は妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	利用台数が減少傾向にあることに加え、駅前等の放置自転車の撤去台数も減少しており、地域ごとの利用ニーズに偏りが見られる。市全体での評価は概ねニーズを充足できているものの、地域（駅）ごとには、定期待ちが生じており、利用者のニーズが全て満足されていない。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input checked="" type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	駐輪場毎で利用率の差が開き、全体として利用者が減っており、活動指標、成果指標ともに未達成となっている。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	施設ごとの利用ニーズに対する利用機会の提供は概ね出来ているが、一部には希望通りに定期利用できていない利用者があり、放置自転車の発生に陥っている恐れがあり、引き続き課題として認識する必要がある。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 4. 終了( )	<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-6. その他
	<input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止 市全体の利用減少が続く一方、定期利用希望が叶わない利用者もいることから、地域の利用ニーズに応じて、管理要員の配置体制を見直し、管理費用の適正化を図り、利用料金制を以って、事業費を賄うよう、事業執行体制の見直しを図っていく。		
部局長コメント	需要の多寡と入出庫の時間帯、放置自転車禁止区域での放置件数の推移についてよく評価し、現状に応じ自転車駐輪場は管理要員を見直すとともに、需要の多い自転車駐車場の拡充と管理費用の集中化を図り、収支のバランスを踏まえた事業の再構築を速やかに進めること。計画値はそれぞれの需要に応じて見直されるべきであり、適切に対応すること。		

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	88.37 %	85.68 %	93.16 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-3.04 %	-4.20 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	1 千円	1 千円	1 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+3.99 %	-4.95 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	337				
部 局 名	建設部	所 属 名	道路・河川管理課	所 属 長	馬場 靖
事務事業名	00951	交通バリアフリー推進事業	記 入 者	東 大吾	

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	道路法、バリアフリー法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします	関連する個別計画	大津市交通バリアフリー基本構想
	施策	02	公共交通ネットワークの再構築		
	視点	03	安心して通行できるバリアフリー化の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	人にやさしい道づくり事業費	

事業の概要  
 バリアフリー法に基づき、JR大津駅～京阪浜大津駅周辺及び膳所駅周辺が重点整備地区に指定されており、この地区において安全な交通環境を整備すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	歩道の安全かつ円滑な通行を確保
対象 (何又は誰を)	高齢者、身体障害者、その他の歩行者及び自転車
手段 (どのようなやり方で)	歩道の段差の解消、勾配修正をするため、補修工事を実施
成果 (どのような状態にするのか)	誰もが利用しやすい歩道空間

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		4,521	8,738	3,793	0	20,000	
人件費 B		1,640	1,833	2,573	0	2,797	
事業費合計 A+B		6,161	10,571	6,366	0	22,797	
事業費の内訳	国	1,408	1,910	800	0	10,000	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	1,200	1,719	700	0	9,000	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		3,553	6,942	4,866	0	3,797	
職員数(人)		0.20	0.30	0.31	0.00	0.40	
職員数の内訳	正規	0.20	0.20	0.31	0.00	0.30	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.10	0.00	0.00	0.10	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	工事施工延長	m	目標	200	200	200	200	660
				実績	208	68	95	-	-
2		完工延長		目標					
				実績					
成果指標	1	整備率	%	目標	29	31	32	32	36
				実績	30	30	31	-	-
2		完工延長4,029m(累計) / 全体計画延長13,000m		目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	高齢者、障がい者の社会参加機会が増すとともに、官民に関わらず、建築物のバリアフリーが進んでおり、道路等の公共空間におけるバリアフリー化を更に拡大させる必要がある。		
これまでの見直しや改善等の経過	大津市バリアフリー基本構想に基づいた重点地区のなかで、市民、利用者の要望を踏まえた施工箇所の優先順位等を見直してきた。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	大津市バリアフリー基本構想に基づく駅周辺の重点地区について、市道のバリアフリー化を計画的に実施している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業の進捗が国から交付される交付金に左右されるため、計画どおりの事業進捗が出来てなかった。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	施工規模は計画を下回ったが、事業費の範囲内で経済的な施工を行い、事業の効率性は確保できた。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	計画に対する進捗率は十分ではなかったが、整備済延長は伸長したことに鑑み、着実な施策への貢献度は認められる。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>自らの意思で移動したいとする市民意識は一層高まっており、これに応じた事業継続は欠かせない。さらに国民スポーツ大会の開催を控え、令和3年度から令和5年度においては、重点整備地区と重複している膳所駅周辺地区の関係路線の優先的整備に努める。</p> <p>市民意識調査において、この事業の積極的な推進を求める意見が見られること、現在の移動環境に物足りなさを感じる市民志向は重要視する必要があることから、当事者及び当事者団体などを通じて必要な対策を絞込むなどをして、迅速な対応を心掛けること。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
目標達成率	指標1	103.44 %	96.77 %	96.87 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	+3.33 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	29 千円	155 千円	67 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	205 千円	352 千円	205 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+71.57 %	-41.72 %	

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	338				
部 局 名	建設部	所 属 名	道路・河川管理課	所 属 長	馬場 靖
事務事業名	02478 街路樹管理事業	記 入 者	東 大吾		

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	道路法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	
	政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします		
	施策	02	公共交通ネットワークの再構築		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	街路樹管理事業費	
事業の概要	本事業は、人と環境にやさしい快適な都市基盤を備えた魅力ある街にすることを目的とし、適切な街路樹の維持管理を行っている。この事により市道沿線の景観などに潤いを与え、夏の日差しを緑陰によってやわらげたり、さらには車と歩行者の分離や、火災時の熱吸収や低減などの防災機能も向上した街づくりを目指す事業である。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	環境と共生するライフスタイルに合致する質の高い道路空間の創出
対象 (何又は誰を)	通行車両、歩行者
手段 (どのようなやり方で)	委託業務などによる適正な街路樹の維持管理
成果 (どのような状態にするのか)	通行車両と歩行者の安全性の確保と環境の質の増進効果

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		117,587	112,726	109,870	109,485	139,285	
人件費 B		31,500	31,530	22,450	26,924	26,924	
事業費合計 A+B		149,087	144,256	132,320	136,409	166,209	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	149,087	144,256	132,320	136,409	166,209	
職員数(人)		5.00	5.00	3.50	3.80	3.80	
職員数の内訳	正規	4.00	4.00	3.00	3.60	3.60	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	1.00	1.00	0.50	0.20	0.20	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	街路樹剪定本数	本	目標	6,000	6,000	6,000	6,000	7,000
		実績		7,553	6,861	5,928	-	-	
		年間の街路樹(高木)の管理本数							
成果指標	1	街路樹剪定本数目標達成率	%	目標	100	100	100	100	0
				実績	100	100	99	-	-
	2	目標値/達成値	目標						
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	街路樹は、四季を通じて街に彩りもたらす道路景観の一部を構成するものとなっているが、落ち葉や害虫発生に伴う否定的な市民意見もある。		
これまでの見直しや改善等の経過	枝葉の適正な剪定などの維持管理に併せ、倒木による第三者被害を防止するため街路樹診断を行い、診断結果に応じた適切な保全管理を実施してきた。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	通行車両や歩行者の安全を確保する現在の管理手法は、作業内容の特殊性や環境面及び景観の向上から考えると有効性及び効率性から最も妥当だと考える。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	街路樹の維持管理については、専門的な技術を有し、迅速な対応も必要であるため現行の年間維持管理業務の手法は、有効である。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	適正な時期に維持管理業務を行えるよう年間業務委託することで、効率的な街路樹管理が可能である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	適正な街路樹の維持管理は、道路の一部としてだけでなく、C。2の吸収源としての環境配慮や景観保全への対策の向上、安全性の確保の観点から道路交通ネットワークの形成に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他    ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了(    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	これまでの管理手法の継続に加え、数年に一度程度、剪定を行う路線について、高木が巨木化し沿道家屋や道路環境に悪影響を及ぼしているものが見られることから、適宜、追加対策を講じる必要がある。
部局長コメント	高木の適正な管理については、その負担時期について、他の維持管理経費の上昇期と重複しないよう、その実施年度について調整を図ること。また、管理手法の合理化にあたっては、必要に応じて道路等施設マネジメント基本計画において位置付けしていくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	99.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	-1.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	19 千円	21 千円	22 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	1,490 千円	1,442 千円	1,336 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-3.24 %	-7.34 %